

包 括 的 公 表

2024年7月～9月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

No.	発生場所	概 略	再発防止策
1	外来	転倒し左手を打撲。休日に救急外来を受診、X線写真の所見で左第5指基節骨骨折所見があったが、患者を帰宅させた。 2日後に、別の医師が骨折に気づき、患者へ連絡、骨折部位の外来手術を行った。	軽症であっても、上級医は研修医からの報告だけではなく、カルテや検査結果を直接確認した後、研修医にフィードバック、患者対応を決定する。
2	手術室	心房中隔欠損症にパッチ閉鎖術を施行。閉創時、胸骨下に留置したドレーンを縫い込んでしまい、ドレーンが抜去できないため、術後4日目に再開創異物抜去術を行った。	縫合時、周囲の組織を十分に確認し、刺入・支出部位を確認した上で閉創する。
3	病棟	前立腺肥大症の既往のある患者に、尿閉のため膀胱留置カテーテルを留置。留置時に尿道を損傷した。	膀胱留置カテーテル留置時、尿流出が見られないときはバルンを拡張しない。 留置前に前立腺の疾患等の既往を確認し、既往がある場合は、医師へ留置を依頼する。